



しーすで培われた性能と実績 社名を冠した摩擦材



(株)セラメタ

代表取締役 伏木 一夫 氏 (太田支部所属)

Q & A

▼会社紹介

当社は、二輪・四輪自動車や、各種産業機械のクラッチやブレーキに使用される摩擦材を製造・販売しています。大きく分けて「セラメタ事業」、「リビルト事業」という二つの事業を展開しています。設立は平成二十九年ですが、私が勤めていた前身の会社が後継者不在という事もあり、事業譲渡という形で誕生させました。その際に相談に乗って頂いたのが福島会計事務所様です。私は二十五年以上この仕事に携わっており、経験や技術を埋もれさせたくはありませんでした。経営の観点から、一からアドバイス頂きました。後に同友会も紹介して頂きました。

使用されております。特に当社の特徴としては、素材の研究開発から製造・販売まで一貫体制を整えている上に、業界一筋で蓄積された経験とデータから、多種・少量の製造・摩擦係数の相談まで対応できる点です。

▼事業紹介

リビルト事業は、主にクラッチディスクの再生を行っております。商業車両(大型トラック・バスなど)は自家用車両に比べ使用年数も長く、当然維持管理費もかかります。リビルトは再生部品ですから、交換で廃棄される部品の削減はもちろん、新品同様の性能を保ちながら大幅な経費削減にも繋がります。都内の有名バス会社、国内トラッ



クディーラーにも採用されています。回収した使用済みクラッチディスクは、摩擦材だけでなく構成するパーツ一つ一つを分解し、摩耗などをチェックし必要に応じて部品交換も行いながら仕上げていきます。このリビルト事業は写真の女性スタッフが担っています。さらに当社のリビルトクラッチディスクには保証書を発行し、製品納入後も安心のバックアップ体制を整えております。

▼今回のPRは

もう一つの「セラメタ事業」です。自社で素材の配合を変更し、レース車両やドライバー・ライダーの好みに合わせたクラッチ・ブレーキを作ります。

二輪車最高峰クラスのMOTOGP

参戦車両のクラッチも製造しています。昨年は、県内企業のJ

AOS様のアジアクロスカント

リーラリー出場車両(ハイラック

クス)にも、当社のクラッチディ

スクが採用され完走していま

す。さらに四輪ジムカーナ競技

車両のクラッチも研究・開発しています。日常ではあり得ない限界走行の中でも、確実に動力をコントロールする実績が、当社のブランドでもあり信頼に繋

がっています。

また、生産が終了してしまった旧車といわれるモデルのクラッチも現物から製造可能です。



▼これからの展望

当社の事業は、かなりニッチな分野だとは思いますが、経費の削減という経営に直結するサービスでもあります。物流、運送業界の中にはもっとニーズは潜んでいると感じています。大手摩擦材メーカーに負けない開発力と中小企業の機動力を活かし営業していきたいと考えています。

所在地 / 太田市東新町751-2
連絡先 / TEL0276-36-1261
URL / www.cerameta.jp/